SC 便　Smile&Thanks　No.1 湯川中

２０２３．５．２９　文責 小松将人

今年度も SC（スクールカウンセラー）として貴校に配属されました。今までの経験を活かしながら学習を重ね新しい情報も吸収して頑張っていくのでよろしくお願いします。

昨年同様　生徒だけではなく保護者の方々も子どもの家庭生活や学習や進路等での悩みや困り感　些細なことでも構いません。話す中で全てを解決できないかもしれませんが心の整理ができたり方向性が見えたり次のステップへのヒントが見えてきたりすることもあります。話している中で問題点や課題点だけではなくその悩みの本質（原点）が見えることでスタート地点に戻りやり直すチャンス（＝機会好機）を発見できると意外な展開が起こるかもしれません。全てがうまく行くことにはなりませんが立ち止まっていては前進できません。些細な一歩（＝行動）が時には大きなステップアップになるきっかけになるかもしれません。行動することの意義を大切にして自分自身を見つめ直してください。

今年度の SC 便りのテーマを『Smile＆Thanks』として様々な発信をできたらと思っています。年間を通して（月１回）継続してこのテーマを追究していきたいと思っています。

突然ですが　現在の社会情勢を見てみると

・ロシア・ウクライナ戦争による世界的な物価上昇　核不安による世界的対立関係
・コロナ禍による新しい生活様式による人間関係の希薄化やコミュニケーション不足
・コロナの第９波問題（終息していないコロナ対応？～新しいウイルス課題・対応不安）
・世界的規模で発生している異常気象現象～人間が起こした地球温暖化が大きな要因
・世界的に発生している部族間闘争・弾圧（スーダン　ミャンマー　ウイグル地区）
・アフリカを中心とする世界的飢餓・教育問題（食料不足　子供の人権・労働問題）
・世界的金融恐慌が発生する危険（米国発信と経済資本主義の一抹の不安）
・米中対立における世界的危機的状況への日本の立ち位置と方向性

このような社会情勢においても我々の日常は営まれていく中で何を大切なものとして重要な点は『どのようにして生きていくべきか』を考えていくことではないでしょうか！私自身の心の在り方として生きていく中で　最近　特に必要なものとして

『Smile』～笑顔を忘れないこと　苦しくても辛いことがあっても明るく生きること
『Thanks』～感謝すること　小さな幸せや自分自身が恵まれていることに気づくこと

世界では教育を受けられない子どもたち　飢餓に苦しんでいる人々　戦争に巻き込まれている国々　様々な人種差別・弾圧を受けている人々が大勢います。しかし毎日の些細な出来事に感動し幸せを感じることができれば人間は生きていくことができます。隣の人と助け合っていくことができればそこには明るい未来が見えてきます。

『Smile＆Thanks』のスピリットを忘れることなく日々の生活に幸せを見出すことが我々に素晴らしい未来が待っていることでしょう！是非ともこの一年間様々な困難や苦難が待ち受けているかもしれませんがこのスピリットを基本として楽しい人生を歩んでいくことを目標に共に『人生を ENJOY』していきませんか！！！

『To think positive』（原題訳：前向きに考えること　邦題：心の持ち方）

自分の人生を前向きに積極的に生きていくことは難しいことかもしれませんが、自分のちょっとした心の持ち方や物の見方を変えるだけで、人生自体が実に楽しいものであり、苦しいことも実は克服できるレベルのことのように認識できたり、前向きに対処していくこともできます。その心の持ち方の基本として『物事を前向きにとらえ、人生を思考すること』が重要なポイントになると考えられます。私の好きな書物の中で、上記の書物があります。人生を豊かに生きる多彩なヒントが満載されている６観点９２項目から構成する多様な心の持ち方が示されています。著者 Jerry Minchinton（ジェリーミンチントン）はアメリカの著述家であり長年に渡り経営者としてビジネスに携わるうちに「人が自尊心を高め、自らの価値を確信することが、人生における成功や幸福に直結する」ということに気づき、自尊心に関する研究を追究してきました。次の重要な６観点に注目することで、自分自身の人生を、自分の生きる目的や目標をどの様にクリヤしていくことができるか、大きなヒントやアイディアが記載されており、自分の人生を見つめ直したり、豊かにすることができる大きな示唆を与えてくれます。重要な６観点のみをピックアップしてみますので、どの様な内容なのか？どの様な視点が大切なのか？自分なりに想像してください！

１　自分を大切にする　　２　ネガティブな考え方や人から離れる

３　楽観的になる　　４　目標に向かって進む

５　自分らしく生きる　　６　よい人間関係をつくる

参考までに重要な６観点の逆（＝良くない心の持ち方）をちょっと想像してみると
１　×　自分を大切にしない　他人のことばかり気にする（比較する）
２　○　ポジティブな考え方や人と付き合う（行動する）＝周囲が明るくなる
３　×　悲観的になる（＝人生に対してマイナス思考、負のスパイラルへ陥る可能性）
４　×　目標を持たない行動や人生にはなかなか積み重ねやステップアップは難しい
５　○　人との比較や価値観に呼応することなく自分の魅力や特性を生かして生きる
６　×　コミュニケーションのうまく取れていない集団（友人・家族・クラス・部活）
　　においては　次のステップに向けて（高いレベル）進んでいくことができるか

（注意）今回は６観点のみを抽出しましたが、定期的な SC 便りで（月１回 年 10 回）１ 観点ごとに内容を深めていきたいと思います。その内容を理解する中で、日々の生活の中で活かしていただければシリーズとしていく価値があると思っています。

『自分のこころの持ち方を創造する中で
一度しかない人生を豊かにするチャンス（機会）をゲットしよう！』

ＳＣ来校予定【１学期】

６月９日（金）、21 日（水）、７月７日（金）、21 日（金）

時間は 13:00～17:00 です。担任を通してお申し込みください。

教職員の皆様へ　　2023 5/10　SC 小松

今年度も SC として市教育委員会から委嘱され、貴校訪問できることになりとても嬉しく思っております。今年度も微力ながらｂ生徒の悩みや困りごとに対して、少しでもサポートやアドバイスができたら、教職員の方々に対しても、アイディア提供や学級経営のサポートができたらと思っています。今までの経験を生かして頑張っていきたいと思いますので、基本的には月２回年間 18 回（予定）程度ですが、色々な話題やテーマで話し合うことができたらと思っています。是非とも相談室に足を運んでいただければ嬉しく思います。今年度の１年間よろしくお願いします。

＊＊＊　SC 業務等について、少し参考となる資料提供です。
内容等を掘り下げたい方は、相談室まで遊びに来てください。＊＊＊

SC 業務等の確認

＊＊気になる子どもへの支援体制について

- 対象となる児童生徒や学校のニーズの把握
- 授業場面での観察
- 指導内容・方法等の助言
- 校内での実態把握の実施への助言
- 校内における支援体制づくりの助言　＊１
- 相談記録作成と次へのステップ

◇　校内における支援体制づくりの助言　＊１

担任～悩み・苦戦　⇔　学年体制　学校体制
学校＝安全基地（居場所）＞家庭　？
＊「チーム学校」のスタンス

STEP１　問題の芽が小さいうちに職員ワンチームで対応（初期対応の重要性）

STEP２　校内支援委員会（ケース会議・校内検討委員会等）
①実態把握（アセスメント）
②ケース会議（支援方針の検討）
③教育支援計画作成とＰＤＣＡサイクル
・将来の自立に向けて児童・保護者のニーズの把握
・多面的評価　指導改善　組織的対応　small step 対応

STEP３　保護者の思いに配慮しながら外部専門機関との連携

◇　学級経営と生徒指導の３機能の活用実践

・生徒指導の中核となる３機能を生かして生徒間のコミュニケーション能力を育成
学級経営と教科指導改善を実施した学校活動での豊かな人材育成
各自の進路実現ができるような教科指導体制や進路指導体制の充実

＊＊生徒指導の３機能とは！～学級経営と授業改善の基本（土台）

①自己決定の場を与える　②自己存在感を与える　③共感的人間関係を育成する
＊これを日々の授業で実践することで生徒の姿勢に変化が生じる
＊すべての生徒に「出番」を与える　～①②③
→　一人ひとりの生徒が各教科時間に自分の意見や考え方をもって　それを　みんなの前で示す（自己存在感）そして生徒がお互いに受容していく（共感的な人間関係）
→　教職員が生徒指導の３機能を理解し生徒の居場所を確立する中で
自己決定　⇒　自己存在感　⇒　共感的人間関係
をベースとした生徒同士の信頼関係を構築するとともに　学級経営や教科指導の改善を実現していく

＊＊学級経営で大切なこととは！

①　子どもの理解状況に合わせて環境を整える（環境設定）
②　良さを活かし役割を果たさせる場を設定する（動機付け/自己信頼）
③　言葉への配慮をして適切に伝える（言語環境）

＊＊「しかること」と「怒ること（感情的）」には大きな違いがある！
「しかること」～社会性やルール確認・価値観の醸成へ
「ほめること」～人間性や自己肯定感・自信・自立への有効的手段